

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質							3.1
Q1 室内環境			0.34		-		3.2		
1 音環境		3.0	0.15		-		3.0		
1.1 室内騒音レベル	-	3.0	0.40	3.0	-				
1.2 遮音		3.0	0.40		-				
1 開口部遮音性能	-	3.0	0.60	3.0	-				
2 界壁遮音性能	-	3.0	0.40	3.0	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	3.0	-	3.0	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-	3.0	-	3.0	-				
1.3 吸音	-	3.0	0.20	3.0	-				
2 温熱環境		2.5	0.35		-		2.5		
2.1 室温制御		3.2	0.50		-				
1 室温	-	3.0	0.38	3.0	-				
2 外皮性能	窓システム:SC3.9、U2.1、外壁:U0.6	4.0	0.25	3.0	-				
3 ゾーン別制御性	-	3.0	0.38		-				
2.2 湿度制御	-	3.0	0.20	3.0	-				
2.3 空調方式	-	1.0	0.30	3.0	-				
3 光・視環境		3.5	0.25		-		3.5		
3.1 昼光利用		4.2	0.30		-				
1 昼光率	事務室の昼光率が4.4%	5.0	0.60	3.0	-				
2 方位別開口	-		-	3.0	-				
3 昼光利用設備	-	3.0	0.40	3.0	-				
3.2 グレア対策		3.0	0.30		-				
1 昼光制御	-	3.0	1.00	3.0	-				
3.3 照度	全般照明方式で500lx ≤「照度」<1,000lx	4.0	0.15	3.0	-				
3.4 照明制御	-	3.0	0.25	3.0	-				
4 空気質環境		4.0	0.25		-		4.0		
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-				
1 化学汚染物質	JIS・JAS 規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している	4.0	1.00	3.0	-				
4.2 換気		3.3	0.30		-				
1 換気量	居室の換気計算として一人当たり30m ³ /h以上を確保	4.0	0.33	3.0	-				
2 自然換気性能	-	3.0	0.33	3.0	-				
3 取り入れ外気への配慮	-	3.0	0.33	3.0	-				
4.3 運用管理		5.0	0.20		-				
1 CO ₂ の監視	-	-	-		-				
2 喫煙の制御	対象建築物内は禁煙	5.0	1.00		-				
Q2 サービス性能			0.30		-		3.5		
1 機能性		3.4	0.40		-		3.4		
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-				
1 広さ・収納性	-	3.0	0.33	3.0	-				
2 高度情報通信設備対応	-	3.0	0.33	3.0	-				
3 バリアフリー計画	-	3.0	0.33		-				
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30		-				
1 広さ感・景観	事務室や会議室の天井高は2.8mを確保	4.0	0.33	3.0	-				
2 リフレッシュスペース	談話コーナーが事務室の約18%かつ自動販売機の設置	5.0	0.33		-				
3 内装計画	-	3.0	0.33	3.0	-				
1.3 維持管理		3.5	0.30		-				
1 維持管理に配慮した設計	建物全体でビニル床シート、トイレはケイ酸カルシウム板を採用	4.0	0.50		-				
2 維持管理用機能の確保	-	3.0	0.50		-				
2 耐用性・信頼性		3.7	0.30		-		3.7		
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.8	0.50		-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	重要度係数1.25を採用	4.0	0.80		-				
2 免震・制震・制振性能	-	3.0	0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.30		-				
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級2相当である。	4.0	0.20		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	-	2.0	0.20		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	事務室:床ビニル床タイル4.0(フリーアクセスフロア-H150)、壁塗装(石膏ボードt12.5)、天ロックール化粧吸音板t12	5.0	0.10		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	-	3.0	0.10		-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	消火管SGP(C)、雑排水管VP(B)、給水VP(B)、(E)は不使用	5.0	0.20		-				
6 主要設備機器の更新必要間隔	-	3.0	0.20		-				
2.4 信頼性		4.0	0.20		-				
1 空調・換気設備	-	3.0	0.20		-				
2 給排水・衛生設備	-	3.0	0.20		-				
3 電気設備	敷地内に非常用発電設備を設け、電気室等を2階以上とした	4.0	0.20		-				
4 機械・配管支持方法	設備の耐震性能を甲類とし、ELVも耐震クラスSとして計画	5.0	0.20		-				
5 通信・情報設備	通信手段の複数化、2階以上への通信・情報設備、ケーブルTVを設置	5.0	0.20		-				

3	対応性・更新性		3.3	0.30	-	-	3.3
	3.1 空間のゆとり		4.2	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり	階高4.0m以上	5.0	0.60	3.0	-	
	2 空間の形状・自由さ	-	3.0	0.40	3.0	-	
	3.2 荷重のゆとり	-	3.0	0.30	3.0	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.36	-	-	2.7
1	生物環境の保全と創出	-	2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.8
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.4
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.70	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI _m =0.22、LED照明設備を採用	5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.4
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水	自動水栓および節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.5	0.60	-	-	3.5
	2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニル床シート、ビニル床タイルの2品目で採用	4.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が容易に分別可能であり、OA707-も採用している	5.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	PRTR法に該当しない建材種別が2つある	4.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
	1 消火剤	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	-	3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.5
1	地球温暖化への配慮	LCCO ₂ 排出率55%	4.7	0.33	-	-	4.7
2	地域環境への配慮		2.9	0.33	-	-	2.9
	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	-	2.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-	
	2 振動	-	-	-	-	-	
	3 悪臭	-	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	1.0	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	3.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	